

この説明文書は服用前に必ずお読み下さい。また、必要な時に読めるよう大切に保管して下さい。

総合かぜ薬 **ヒストルミン**

第②類
医薬品

「かぜは万病のもと」と言われており、早めに治すことが大切です。
鼻水が出る、寒けがする、のどが痛い、熱がある、こんなかぜの初期症状があらわれた時には、早めに**ヒストルミン**をお飲み下さい。各成分が働いて、鼻水、鼻づまり、せき、たん、悪寒、発熱、頭痛などの「かぜの諸症状」を緩和します。
ヒストルミンは5才から服用できるうすい橙色の錠剤です。

⚠ 使用上の注意

❌ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる)

- 1. 次の人は服用しないこと
 - (1) 本剤によるアレルギー症状を起こしたことがある人。
 - (2) 本剤又は他のかぜ薬、解熱鎮痛薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
- 2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないこと
他のかぜ薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬、鎮咳去痰薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬(鼻炎用内服薬、乗物酔い薬、アレルギー用薬)
- 3. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないこと
(眠気があらわれることがある。)
- 4. 服用時は飲酒しないこと
- 5. 長期連用しないこと



相談すること

- 1. 次の人は服用前に医師又は薬剤師に相談すること
 - (1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人。
 - (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
 - (3) 授乳中の人。
 - (4) 高齢者。
 - (5) 本人又は家族がアレルギー体質の人。
 - (6) 薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
 - (7) 次の症状のある人。高熱、排尿困難
 - (8) 次の診断を受けた人。甲状腺機能障害、糖尿病、心臓病、高血圧、肝臓病、腎臓病、胃・十二指腸潰瘍、緑内障
- 2. 次の場合は、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師又は薬剤師に相談すること
 - (1) 服用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	悪心・嘔吐、食欲不振

関係部位	症 状
精神神経系	めまい
そ の 他	排尿困難

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐにじんましん、浮腫、胸苦しさ等とともに、顔色が青白くなり、手足が冷たくなり、冷や汗、息苦しさ等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死症 (ライエル症候群)	高熱を伴って、発疹・発赤、火傷様の水ぶくれ等の激しい症状が、全身の皮ふ、口や目の粘膜にあらわれる。
肝機能障害	全身のだるさ、黄疸(皮ふや白目が黄色くなる)等があらわれる。
間質性肺炎	空せき(たんを伴わないせき)を伴い、息切れ、呼吸困難、発熱等があらわれる。(これらの症状は、かぜの諸症状と区別が難しいこともあり、空せき、発熱等の症状が悪化した場合にも、服用を中止するとともに、医師の診療を受けること。)
ぜんそく	

(2) 5～6回服用しても症状がよくならない場合

3. 次の症状があらわれることがあるので、このような症状の継続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、医師又は薬剤師に相談すること
口のかわき

効 能

かぜの諸症状（鼻水、鼻づまり、くしゃみ、のどの痛み、せき、たん、悪寒、発熱、頭痛、関節の痛み、筋肉の痛み）の緩和

用法・用量

次の1回量を、水又はぬるま湯で食後なるべく30分以内に服用して下さい。

年 齢	1 回 量	1 日服用回数
成人(15才以上)	3 錠	3 回
11才～14才	2 錠	
5 才～10才	1 錠	
5 才未満	服用しないで下さい。	

<用法・用量に関連する注意>

- (1)用法・用量を厳守して下さい。
- (2)小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させて下さい。

成分・分量 9錠中

成 分 名	分 量	作 用
アセトアミノフェン	900mg	熱をさげ、頭痛やのどの痛みを緩和します。
マレイン酸 クロルフェニラミン	7.5mg	鼻水、くしゃみ、鼻づまりなどのアレルギー症状をおさえます。
ヒベンズ酸チペピジン	75mg	せきをしずめ、たんの排出を促します。
dl-塩酸 メチルエフェドリン	60mg	気管支をひろげ、呼吸を楽にし、せきをおさえます。
グアヤコール スルホン酸カリウム	240mg	たんを切れやすくします。
カフェイン	75mg	頭痛をやわらげます。
チアミンジスルフィド	24mg	かぜの時に消耗の激しいビタミンB ₁ ・B ₂ を補います。
リボフラビン	12mg	
ヘスペリジン	60mg	血管や組織を丈夫にし、抵抗力を高めます。

添加物:CMC-Ca、ヒドロキシプロピルセルロース、メチルセルロース、ステアリン酸Mg、乳糖、セルロース、ヒドロキシプロピルメチルセルロース、マクロゴール、酸化チタン、カルナウバロウ、黄色5号

<成分・分量に関連する注意>

本剤の服用により、尿が黄色になることがあります。リボフラビン（ビタミンB₂）によるもので心配ありません。

保管及び取扱い上の注意

- (1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に密栓して保管して下さい。
- (2)小児の手の届かない所に保管して下さい。
- (3)他の容器に入れ替えないで下さい。
(誤用の原因になったり品質が変わります。)
- (4)水分が錠剤に付着しますと、表面の一部が溶けて斑点を生じることがありますので、誤って水滴を落としたり、ぬれた手でふれないで下さい。
- (5)使用期限をすぎた製品は服用しないで下さい。



製品のお問い合わせ先

小林薬品工業株式会社 お客様相談室

電話 058(278)3933

受付時間 10時から16時まで(土、日、祝日を除く)

副作用被害救済制度の お問い合わせ先

(独)医薬品医療機器総合機構

<http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html>

☎0120-149-931(フリーダイヤル)

製造販売元

本社所在地

小林薬品工業株式会社

岐阜県岐阜市中鵜1丁目139番地

東京都中央区日本橋箱崎町40番6号